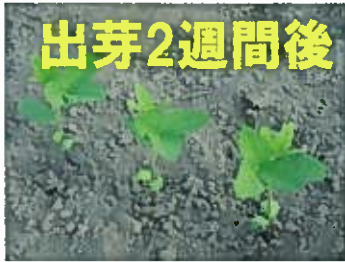


大豆「タチナガハ」 栽培ごよみ

月	6月			7月			8月			9月			10月			11月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
大豆株の生育	 出芽2週間後			 第4～5本葉展開期			 開花期			 子実肥大期			 登熟期			 成熟期		
	6月20日播種で、8月1日頃開花期、10月23日成熟期（農業研究所圃場・水戸市、過去10ヵ年平均）																	
栽培管理	← 播種 →			← 中耕培土 →			← 病虫害防除 →			← 収穫 →			← 乾燥・調製 →					
	播種適期は、6月上旬～7月上旬です。播種が遅くなると中粒の割合が多くなり商品価値を落とします。			中耕培土は本葉4枚～7枚時に実施します。 播種してから3～5日で出芽します。土壌処理の除草剤は、播種後速やかに使用して下さい。			病虫害防除は、開花期10日後から3～4回程度実施します。カメムシ害が多いと、青立ちしやすくなります。紫斑病防除は開花期20日～30日後時点での防除が効果的です。			コンバイン収穫は、子実水分18%（爪をたてると少し跡が残る状態）以下、茎水分50%以下（手で折るとポキッと折れる状態）を目安に実施して下さい。								

高品質安定生産のためのポイント

1) 種子および圃場のしっかりした準備（排水対策など）が安定生産の土台です。

播種前に準備しておくこと

①優良種子の確保②ブロックローテーションの実施・連作の回避③圃場の排水性向上（本および弾丸暗渠・額縁明渠の設置）④有機物の補給 等

2) 適正な施肥量と播種量、播種時期で、十分な生育量を確保します。

- ①10a当たり基肥量の目安（N3kg、P10kg、K10kg）
- ②10a当たり播種量の目安
約3.5～4kg（6月下旬）
約5.5kg（7月上旬）
- ③播種適期：6月上旬～7月上旬

3) 適正な収穫および乾燥調製作業で障害粒を抑えます。

収穫・乾燥時に発生する障害粒と原因

- ①収穫時：汚粒（高水分時の刈り取り・青立ち株、雑草の残り）
- ②乾燥時：割れ粒（過乾燥）しわ粒・皮切れ粒（急激な乾燥）